

檜原村エコツーリズムエリアマップ



エリア内のあれこれ情報2

道標と管理番号

登山道にある道標などに東京都の「管理番号」のプレートが添付されていることがあります。もともとは看板類の管理をするための番号なのですが、消防や役場などの行政機関に番号と位置が共有されているため、イザという時の通報の際に、この番号を言うと現在地を的確に伝えることができます。



楽しい旅は「準備」から!

必要な装備が無いために十分に楽しめず、危険な目に遭うのは悲しいことです。楽しい思い出をつくるためにも、山に入る際は相応の準備と装備を心掛けましょう。

山に入る際の基本装備

- バックパック
- 適切な服装と靴
- レインウェア
- 水筒・食糧（非常食）
- 地図、コンパス、筆記用具
- 救急用具
- 携帯電話
- ライト

水に入る際の基本装備

- 濡れても良い服・靴
- タオル・着替え
- スローロープ（救助用）
- 救急用具

救急要請の方法は携帯電話で119番!

伝えることは・・・

- ・いつ（時間）
- ・どこで（場所）
- ・誰が（傷病者）
- ・どうして（原因）
- ・どうなっている（傷病の状況）
- ・現行の対処（現状）
- ・通報者の情報

エリア内のあれこれ情報1

自然公園のエリア分け

檜原村の80%を占める国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて、国が指定したものです。この地域にある「秩父多摩甲斐国立公園」は東西約70km、南北約40kmの広さを有しています。「公園計画」で、特別地域と普通地域に分類され、段階に応じた規制が行われています。詳しくは、環境省のウェブサイトをご確認ください。

<https://www.env.go.jp/park/index.html>

*国土地理院地図を元に作成

	都道・村道		川・沢		地区名		公衆便所
	登山道		エコツーリズム推進地域 (檜原村全域)		括弧内数字は標高		

東京都、本土唯一の村 檜原村へようこそ

檜原村エコツーリズムのご紹介

東京都西多摩郡檜原村は、東京都の西南端に位置しています。現在、東京都には「村」が8つありますが、そのほとんどが島しょ部にあり、首都圏から地続きなのは檜原村のみです。

「身近な自然とのふれあい」や「地域固有の文化を学びたい」という声をよく聞くようになりました。檜原村は、首都圏近郊で、このようなニーズにお応えするのに最適な条件を備えています。

檜原村では、エコツーリズムの取り組みにおいて、自然や歴史文化を楽しむための知識をもったガイドを育成しています。自然や歴史文化の保護や継承に配慮しながらも、檜原村を訪れる方には、しっかりとそれらにふれあい、学んで頂くための体制づくりを推進しています。

檜原村の特徴

秋川に沿ったわずかな開口部(最東端)を除き、全て尾根に囲まれており、幾つもの沢筋・源流があり、多くの滝が存在します。全面積の93%を山林が占め、80%が秩父多摩甲斐国立公園に指定されています。

檜原村の自然

渓谷や滝のみならず、人の生活と密接に関わってきた森から、手つかずの天然林まで幅広い植生を楽しむことができます。山林面積が多くを占めるため、様々な野生動物を見ることができます。

檜原村の歴史文化

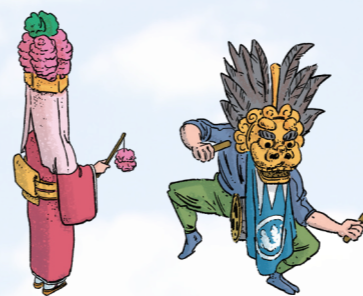
古くから人が暮らし、交通の要衝でもあったため、数多くの文化財や天然記念物、伝統芸能が残されています。東の玄関口となる本宿には檜原城、数馬地区に見られる兜造りの民家など見どころが豊富です。

歴史文化を楽しむための心得

歴史文化への理解と尊敬を

【心得1】挨拶がすべての基本!

歴史文化は過去だけではなく、現在の「人」も介在します。人のコミュニケーションの基本は「挨拶」です。都会と違い、村の人たちは知らない人でも挨拶をすることが多いです。恥ずかしがらずに挨拶しましょう。



【心得2】神事や郷土芸能へ敬意を払う

神事や郷土芸能は、伝統に基づき、実施者は誇りを持って行っています。単なるエンターテインメントショーではありませんので敬意を払いましょう。立入禁止場所への立ち入りや無理な撮影などで、進行を妨げないように気をつけて見学しましょう。

【心得3】プライバシーに気をつけて!

文化財であっても個人が所有されていたり、現在も営みをされている場合があります。ご厚意で公開されている場合もありますので、プライバシーには十分配慮した上で、見学してください。写真撮影やSNS投稿にも配慮を!

【心得4】感覚の違いを理解する

来訪者には珍しく可愛い野生動物かもしれませんが、獣害に悩む地元の方もいます。ただの空き地に見えても、作物を植える準備をしているかもしれません。地元の方言が、来訪者には怒っているように感じることもあります。このようなことでトラブルになることのないよう、「感覚の違いがある」ということを認識してください。



安心・安全の心得

無事に帰ることが条件

【心得1】自然にはリスクがある!

自然は私たちが癒してくれますが、時として牙をむくこともあります。野外活動にはリスクがあることを忘れないでください。

① 道迷い

低い山だから!と安心していていると思われぬしっぺ返し。こまめに現在地を確認しましょう。地図をお忘れなく。

② 転落・落下物による怪我

足場が悪いところで転落!もちろんそのリスクもありますが、落石や落下する枝なども当たったら大けがをします。

③ 急病の対応

山では救急車がすぐに来ないことがあります。特に持病のある方は事前に対応策を考えておきましょう。

④ 危険動植物との遭遇

蛇・蜂・熊などの動物はもちろんですが、触れるとお肌がかぶれてしまう草木などにも注意です。

⑤ 天候の急変

山の天気は目まぐるしく変わることがあります。晴れていても、急な雨風に対処できる装備を持ちましょう。

⑥ トイレがない!

意外に盲点なのがトイレ。慌てないためにも、事前にしっかりと、トイレのある場所をチェックしておきましょう。

⑦ その他

リスクを挙げだすと切りがないですが、事前にいろいろと想定して準備・計画することが重要です。



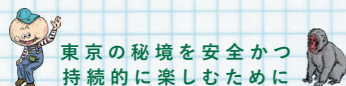
【心得2】体調管理は自己責任

体調が悪い時には、思い切って中止するのも大切です。自然の中に入る場合は、イザと云う時に対応が手遅れになることがあります。

【心得3】イザ!という時に備えよう

悪いことばかり考えていると楽しくないですが、自然の中に入るときには、悪いこともしっかり想定しておきましょう。特に緊急の連絡先や怪我をしたときの救急法などは、是非事前に学んでおきたいものです。

ひのはらむら 檜原村 エコツアー の 心得 こころえ



東京の秘境を安全かつ持続的に楽しむために

檜原村エコツーリズム推進協議会
平成30年春発行

檜原村エコツーリズム をお楽しみください

檜原村は、平成30年4月に国からエコツーリズム推進全体構想の認定を受けました。自然環境や歴史文化を対象とした体験、学びを推進しその保全に責任を持つ観光のありかたを追究しています。

檜原村の自然や歴史文化をより一層学び、楽しむために、ガイドと共に体験頂くことをお勧めします。檜原村のエコツアーガイドは知識のみならず、「おもてなし」の教育を受けた精鋭ぞろいです。

ガイドツアーの情報は公式ウェブサイトに掲載しています。気になるツアーをチェックしてみてください。

檜原村エコツーリズム推進協議会事務局

東京都西多摩郡檜原村 467 番地 1
檜原村産業環境課観光工係
☎ 042-598-1011
www.hinohaland.tokyo

自然を楽しむための心得

いつまでも美しい自然を楽しむために

【心得1】そこにあるから美しい

山にある植物や動物は採取したり持ちかえらずに、そのままの自然を楽しんでください。無許可での採取や持ち帰りは、犯罪になることもありますので、気をつけてください。

【心得2】

生態系を尊重する

野生動物に餌を与えようと、「自然の中で生きる力」を失わせてしまったり、人慣れた動物が人里に出て、獣害を起したりすることもあります。



【心得3】美しいまま後世に!

ゴミの放置や無秩序に人間の痕跡を残す事は、美観を損ね、後世の人が楽しめなくなってしまう。本来のあるがままの自然を楽しむことができるようにしましょう。

【心得4】登山道を歩きましょう

登山道を外れて歩くことは、大きな危険が伴います。また私有地に無断で侵入したり、植生を荒らすこととなりますので、許可の無い場合は、登山道(一般道)を歩いてください。

【心得5】自然界に「火」は大敵

山火事は生態系を脅かすだけでなく、地域の人の暮らしにも大きな損害を与えます。焚き火などは指定の場所で行い、タバコの火の管理はきっちりと行ってください。

【心得6】

源流は水源地でもある!

檜原村の沢は源流ならではの美しい景観を楽しめますが、水源地でもあります。特に取水口近くでは、みだりに沢に入って汚したり、濁らせることのないように配慮しましょう。



コミュニケーションの心得

気持ちの良い環境を維持するために

【心得1】来た時よりも綺麗に

美しい環境を次に来た人にもシェアできるように心掛けてください。自然の中に人工物は残さない!ゴミは持ち帰りましょう。

【心得2】煙草やペットは配慮を!

喫煙は自然の中でも周りの方へご配慮をお願いします。ペットも他の来訪者や地元の人だけでなく野生動物にも影響を与える場合があります。糞尿の処理などの確に実施してください。



【心得3】集団行動時は他に配慮を!

多くの仲間とともに行動する楽しさがありますが、人が多く集まる集団は、それだけで威圧感があることも忘れないでください。

【心得4】大きな音や声に配慮を!

集落の近くでは大きな音や声に気を付けましょう。自然界の小さな音に耳を澄まし、静かでクールな檜原村を楽しんでください。

新しい楽しみ方の心得

トレイルランとMTBについて

【心得1】山を走る!は上級技術

トレイルランニングを楽しむ人が増えていますが、本来、山を走るというのは危険が多く、登山をされる方でも上級の技術です。十分な備えを行ってください。

また、本来、登山道は「歩道」です。歩行されている方がいる時にはスピードを落とし、安全な場所ですれ違い、追い抜く場合は相手の方が譲ってくれてからにしてください。



【心得2】乗り物で山に入るときは

MTB など乗り物で入る場合も、歩行者への配慮と、道を傷めないよう配慮をお願いします。バイクなど原動機をついた乗り物は、原則許可を得ていただくようにお願いします。